

One for all, All for one

高校生男子の皆さん、地区大会準優勝おめでとう（^人^）新人戦シードを取ることができず、確かに悔しい敗戦ではありますが、試合前に監督と確認した「20失点で勝負！」という目標を達成したから好ゲームになったのだと思います。1play, 2playsに執着しすぎることなく、でも1play, 2playsに目を向けて、総合的評価も一つ一つのプレー分析も大切にしてください。国語の先生っぽいことを書いておくと「総合／分析」は対立概念です。でも双方は常に影響しあう存在です。「One for all, All for one」ですからね。ハンドボールに限らず、あらゆる物事の全体にも細部にも目を向けていこう！！

先日のclassroom配信でも「頑張ったアピール」をしましたが、中学生関東大会では男子決勝戦を含む4試合を担当させて頂きました。上手くジャッジできた部分もそうではない部分も貴重な経験となっています。このあたりは選手と同じで、できた部分にもそうでない部分にも丁寧に目を向けることが上達には必要です。振り返りをする際には上手くいかなかった部分が際立つものだと思いますが、自分の気持ちを前に向けるためにも「両面」を大切にしていってください。中学生も高校生も、そしてハンドボールに限ったことではなく、あらゆる物事において・・・。

東日本大会に出場した選手の皆さん、2日間ではありましたが良い時間となりましたね。本戦においては男子も女子も初戦敗退となりましたが、強豪teamを相手にして全力でやりきった結果ですので、僕としてはスッキリ爽快です。もちろん残念な気持ちもありますが・・・。費用もかかってしまうし準備も大変ではありますが、全国大会に出場するチームの実力を肌で感じる事ができるのが東日本大会の魅力の一つです。男子も女子も「上には上がいる」ということを実感したことでしょう。この大会で対戦した選手たちの

多くが次のカテゴリーで活躍していきます。高校生チームで関東大会や全国大会に出場すれば、また対戦することになるはずですが、その際は勝とうぜ！

最後になりますが、合宿をはじめとして仲間たちと多くの時間を共有した夏休みになりましたね。お互いを深く知ることのできた夏休みになったことでしょう。プレーの面は言うまでもなく、数日間の共同生活を通じて人間としての魅力も共有できてきたのではないのでしょうか。もちろん「合わない」部分が浮き彫りになる場面もあったはずですが、そういった点も含めて仲間たちの存在を大切にしてください。「良くない部分」のない人を探すことは大変だし「良い部分」のない人だっていないはずですが、誰かと接する際に、その人の「良い部分」に目を向けようとする事ができる人が「魅力のある人間」であると思っています。このことは「人と人とのつながり」で成り立つ社会に生きていく上で、決して欠かせないものであると考えています。仲間を大切にできる、そのような人間として成長して行ってください。

～東日本大会の思い出写真館～



👉 8月16日 僕の夕食（^w^）